

聖霊降臨節第 13 主日礼拝
2021 年 8 月 15 日 10:30
日本基督教団 代々木上原教会 礼拝堂

司式:中村吉基牧師

奏楽:ヒムプレーヤー

前 奏

招 詞 エフェソの信徒への手紙 2 章 14~16 節

14 実に、キリストはわたしたちの平和であります。二つのものを一つにし、御自分の肉において敵意という隔ての壁を取り壊し、15 規則と戒律づくめの律法を廃棄されました。こうしてキリストは、双方を御自分において一人の新しい人に造り上げて平和を実現し、16 十字架を通して、両者を一つの体として神と和解させ、十字架によって敵意を滅ぼされました。

讃美歌 18 番(「心を高くあげよ!」) *3 ページをごらんください

聖書朗読

旧約聖書 出エジプト記 16 章 1~16 節

1 イスラエルの人々の共同体全体はエリムを出発し、エリムとシナイとの間にあるシンの荒れ野に向かった。それはエジプトの国を出た年の第二の月の十五日であった。2 荒れ野に入ると、イスラエルの人々の共同体全体はモーセとアロンに向かって不平を述べ立てた。3 イスラエルの人々は彼らに言った。「我々はエジプトの国で、主の手にかかって、死んだ方がましだった。あのときは肉のたくさん入った鍋の前に座り、パンを腹いっぱい食べられたのに。あなたたちは我々をこの荒れ野に連れ出し、この全会衆を飢え死にさせようとしている。」4 主はモーセに言われた。「見よ、わたしはあなたたちのために、天からパンを降らせる。民は出て行って、毎日必要な分だけ集める。わたしは、彼らがわたしの指示どおりにするかどうかを試す。5 ただし、六日目に家に持ち帰ったものを整えれば、毎日集める分の二倍になっている。」6 モーセとアロンはすべてのイスラエルの人々に向かって言った。「夕暮れに、あなたたちは、主があなたたちをエジプトの国から導き出されたことを知り、7 朝に、主の栄光を見る。あなたたちが主に向かって不平を述べるのを主が聞かれたからだ。我々が何者なので、我々に向かって不平を述べるのか。」8 モーセは更に言った。「主は夕暮れに、あなたたちに肉を与えて食べさせ、朝にパンを与えて満腹にさせられる。主は、あなたたちが主に向かって述べた不平を、聞かれたからだ。一体、我々は何者なのか。あなたたちは我々に向かってではなく、実は、主に向かって不平を述べているのだ。」9 モーセがアロンに、「あなたはイスラエルの人々の共同体全体に向かって、主があなたたちの不平を聞かれたから、主の前に集まれと命じなさい」と言うと、10 アロンはイ

スラエルの人々の共同体全体にそのことを命じた。彼らが荒れ野の方を見ると、見よ、主の栄光が雲の中に現れた。11 主はモーセに仰せになった。12 「わたしは、イスラエルの人々の不平を聞いた。彼らに伝えるがよい。『あなたたちは夕暮れには肉を食べ、朝にはパンを食べて満腹する。あなたたちはこうして、わたしがあなたたちの神、主であることを知るようになる』と。」13 夕方になると、うずらが飛んで来て、宿営を覆い、朝には宿営の周りに露が降りた。14 この降りた露が蒸発すると、見よ、荒れ野の地表を覆って薄くて壊れやすいものが大地の霜のように薄く残っていた。15 イスラエルの人々はそれを見て、これは一体何だろうと、口々に言った。彼らはそれが何であるか知らなかったからである。モーセは彼らに言った。「これこそ、主があなたたちに食物として与えられたパンである。16 主が命じられたことは次のことである。『あなたたちはそれぞれ必要な分、つまり一人当たり一オメルを集めよ。それぞれ自分の天幕にいる家族の数に応じて取るがよい。』」

新約聖書 マタイによる福音書 6 章 11 節

11 わたしたちに必要な糧を今日与えてください。

祈 禱

説 教 「わたしたちの糧」

中村吉基牧師

祈 禱

讃美歌 499 番(平和の道具と) *4 ページをごらんください

献 金

(礼拝当番による祈りに続いて「主の祈り」をささげましょう。)

天にまします我らの父よ。願わくは御名(みな)をあがめさせたまえ。御国(みくに)を来たらせたまえ。みこころの天になるごとく、地にもなさせたまえ。我らの日用(にちよう)の糧(かて)を今日も 与えたまえ。我らに罪を犯すものを我らが赦(ゆる)すごとく、我らの罪をも赦したまえ。

我らを試(こころ)みにあわせず、悪より救いいだしたまえ。国と力と栄えとは、限りなく汝(なんじ)のものなればなり。アーメン。

祝 禱(派遣と祝福)(ご無理のない方はご起立ください)

後 奏

「心を高くあげよ！」

"Lift up your hearts!" we lift them, Lord, to Thee
 詞：Henry M. Butler, 1833—1918

SURSUM CORDA
 曲：Alfred M. Smith, 1879—1971

1 「こころをたかくあげよ！」主のみこえにしたがい、た
 2 きりのようなうれいも、やみのようなおそれも、み
 3 主からうけたすべてを、ふたたび主にささげて、き
 4 おわりの日がきたなら、さばきの座を見あげて、わ

だ主のみを見あげて、こころをたかくあげよう。
 ▶ なうしろになげすて、こころをたかくあげよう。
 ▶ よきみ名をほめつつ、こころをたかくあげよう。
 ▶ がちからのかぎり、こころをたかくあげよう。

(♩=63)

1 「こころを^{たか}高くあげよ！」
 主^{しよ}のみ^{こえ}声にしたがい、
 ただ主^{しよ}のみを見あげて、
 こころを^{たか}高くあげよう。

2 霧^{きり}のよう^なうれいも、
 やみのよう^なおそれも、
 みなうしろ^に投げすて、
 こころを^{たか}高くあげよう。

3 主^{しよ}から^うけた^すべてを、
 ふたたび主^{しよ}に^ささげて、
 きよきみ名^をほめつつ、
 こころを^{たか}高くあげよう。

4 おわりの^ひ日がきたなら、
 さばきの^ざ座を見あげて、
 わがち^らのかぎり^に、
 こころを^{たか}高くあげよう。

ア-メン。

コロ3:1-4 哀3:41 ヘブ12:1-2

祈り
平和の道具と

Lord, make us servants of your peace
詞：James Quinn, 1919—

DICKINSON COLLEGE
曲：Lee H. Bristol, Jr., 1923—1979

1 へい わ の ど う ぐ と な ら せ て く だ さ ん い。
 2 ぶ ん れ つ に い っ か と ち、 な う た が だ い に さん こ う、
 3 く ら や み に ひ か り、 な な み だ に よ る こ と び、
 4 な ぐ さ め も と め り、 な な ぐ さ め る こ ころ を、
 5 あ い さ れ る よ り も あ い す る こ ころ を、

に く し み に あ い を、 い く さ に わ か い を、
 ▶ あ や ま り す う つ り、 ぜ な り、 く つ ぼ に う わ か い を、
 ▶ り た か き を も ゆ る し て、 かり、 と り、 せ な り、 せ じ、 へ だ こ と、
 て き を も ゆ る し て、 ゆ る さ れ る こ と を。

(♩=108)

- 1 平和の道具と ならせてください。
憎しみに愛を、戦に和解を、
- 2 分裂に一致、疑いに信仰、
誤りに真理、絶望に希望、
- 3 暗闇に光、涙に喜び
もたらず器と ならせてください。
- 4 ながさめ求めず ながさめることを、
理解されるより 理解することを、
- 5 愛されるよりも 愛する心を、
敵をもゆるして ゆるされることを。
- ⇒ 6 自分のいのちを 献げて死ぬなら、
永遠のいのちに 生きるものとなる。

アーメン。

マタ5:9 II コリ4:7 エフェ4:3 ロマ15:3-6